

「空のカーボンニュートラル」シンポジウム ～S A Fによる航空脱炭素化のこれから～

<R5.2.10 アンケート結果概要>

主催：国土交通省、資源エネルギー庁

回答者の属性

✓ 「航空」 (27.5%) が最も多く、次いで「製造」 (12%) の回答が多かった。

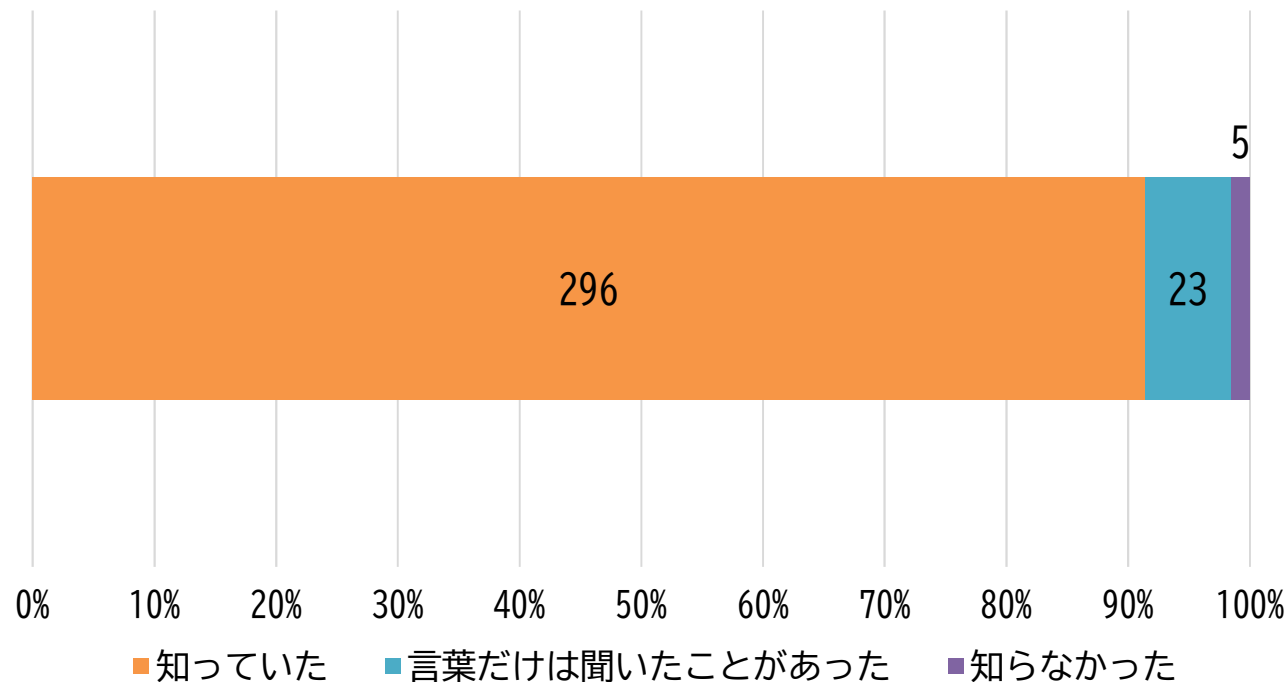
属性	人数	割合
航空	89	27.5%
製造	39	12.0%
空港	25	7.7%
地方自治体	20	6.2%
石油	16	4.9%
行政機関 (地方自治体除く)	14	4.3%
金融	14	4.3%
その他	14	4.3%
商社	12	3.7%
大学・研究機関	10	3.1%
公益法人	10	3.1%
物流・倉庫	9	2.8%
コンサルタント・シンクタンク	8	2.5%
プラント・エンジニアリング	8	2.5%

属性	人数	割合
建設・不動産	7	2.2%
観光・トラベル	7	2.2%
電力・ガス	5	1.5%
リース	4	1.2%
情報・通信	3	0.9%
独立行政法人	2	0.6%
鉄道	2	0.6%
海運・船舶	2	0.6%
報道	2	0.6%
道路	1	0.3%
農林水産	1	0.3%
バス・タクシー	0	0.0%
港湾	0	0.0%
合計	324	

SAFの認知度

- ✓ SAFを「知っていた」又は「言葉だけは聞いたことがあった」との回答が98%を占める。
- ✓ 「知らなかった」との回答は5人（金融、コンサルタント・シンクタンク、情報・通信、行政機関、その他）。

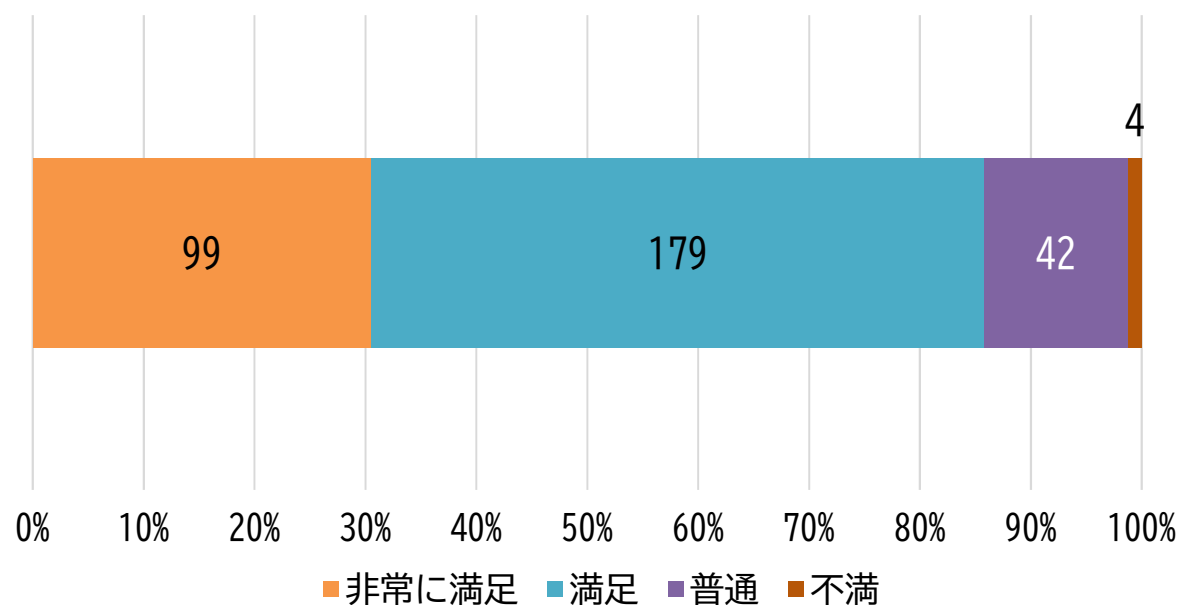
回答者のSAF認知度 (n=324)



シンポジウムの満足度

- ✓ 「非常に満足」及び「満足」の回答の合計が86%を占める。
 - 理由：「製造側および需要側の両者の話を聞いた」、「各業界の見解を知れた」等のコメントがあった。
- ✓ 「普通」は13%（42名）、「不満」は1%（4名）を占める。
 - 理由：「目新しい情報は得られなかった」、「突っ込んだ議論を聞きたかった」、「技術面に関するより詳しい話が聞きたかった」等のコメントがあった。

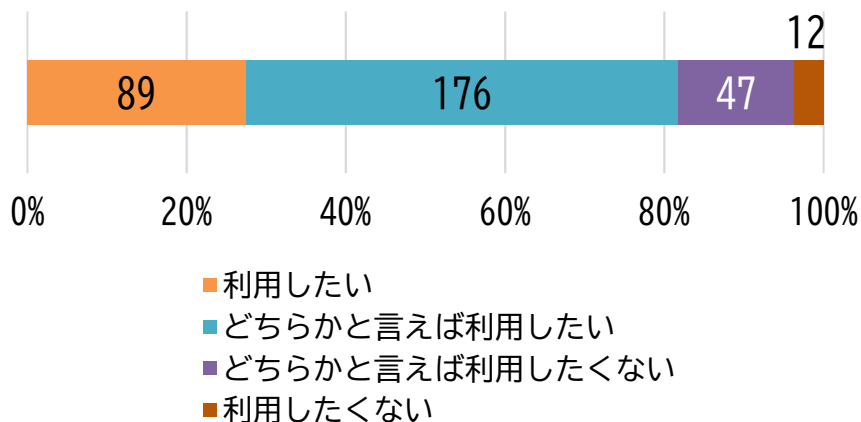
シンポジウムの満足度 (n=324)



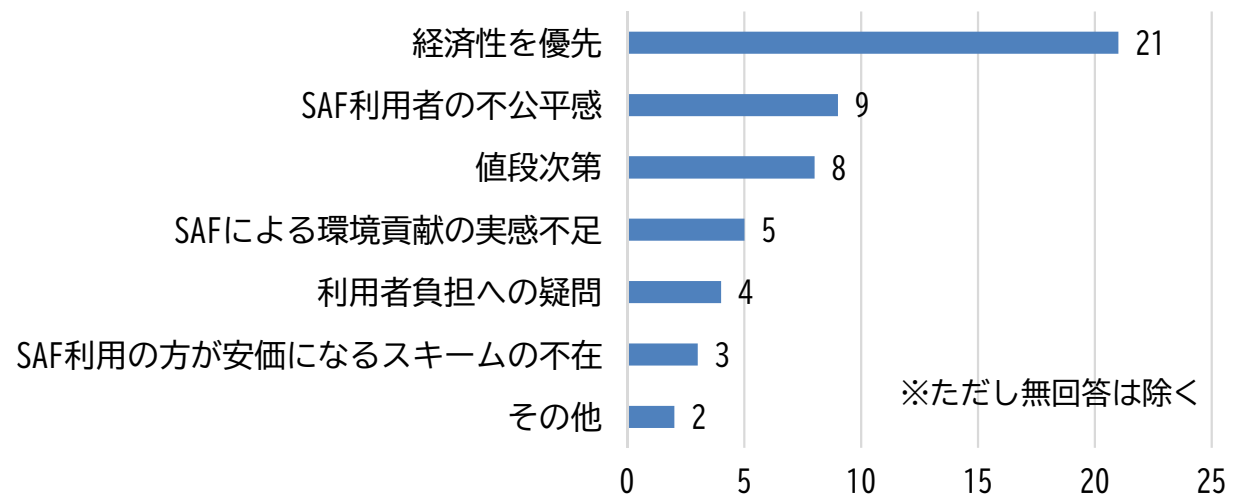
SAF利用への費用負担について

- ✓ 「利用したい」または「どちらかと言えば利用したい」の回答の合計が8割以上を占める。
- ✓ 一方で「どちらかと言えば利用したくない」、「利用したくない」の回答の理由として以下のコメントがあった。
 - ・ 経済性優先：選択できる状況下では、わざわざ高い料金を支払いたくない
 - ・ SAF利用者の不公平感：SAF利用の有無にかかわらず全ての航空利用者が費用負担をすべき
 - ・ 値段次第：追加費用の程度によって考える
 - ・ その他：利用者負担への疑問、カーボンプライシング等のスキームや機体軽量化によるコスト削減等の方法の提示

SAF利用への費用負担の意思 (n=324)



どちらかと言えば利用したくない/利用したくないの選択理由 (n=52)



航空脱炭素化に対する利用者の意識向上の方法

- ✓ 「認知度向上/広報・教育活動の推進」の回答が最も多い。
 - （回答詳細）SNSやCMの活用、空港における広報活動、教育を通じた若い世代への周知など
- ✓ 次いで「カーボンニュートラル貢献の可視化」の回答が多い。
 - （回答詳細）マイレージ等を通じた脱炭素化への貢献の可視化、搭乗するフライトのGHG排出量の可視化など
- ✓ 次いで「制度設計・施策」、「SAF利用へのメリット付与」の回答が多い。
 - （回答詳細）カーボンプライシング等による利用者への費用負担、マイルの付与等のSAF利用へのメリット付与など、消費者に対するインセンティブの導入

利用者の意識向上の方法 (n=199)

